

のぼのばかわら版

VN1000オープンヤッケ

デニム柄の前開きヤッケ。
作業服では少し前からデニムが
主流です。

そんな流行りのデニム柄ヤッケ
が登場です。

ヤッケと言うと、デザインの方
は「二の次」となってしまいがち
ですが、こちらはフードも立体的
で他のヤッケとは違います。

機能面も充実しています。

合羽ではないですから防水性は
ありませんが撥水加工がバッチリ
フードと裾が、ドロコードに
なっており（留め具付きのヒモ）

いちいちヒモを結ぶ手間もなく、
キック締めたり緩めたり出来ます。

小さな事かも知れま
せんが、毎日繰り返す
作業です。

助かります。

前開きは脱ぎ着するのも楽ちん
です。

パッケージは穴あきのフックに
通すタイプではなく、引っ掛ける
形状なので、一つのフックに違う
サイズを陳列する事が出来、場所
を取りません。

カラーは、ネイビーとグレーの
二色。 **チラシ参照。**

当社では、どちらの色もM〜3L
まで在庫します。

メーカーでは4Lも作っています。
4Lは5着から取り寄せ出来ます。

「ヤッケ」という言葉をやめて、
「フルオープンパーカー」と言う
と格好よくなりますね。



VN-1000



アシックス値上げ

ついにアシックスから
値上げの通知が来て
しまいました。

来年2023年の
2月1日出荷分から
価格が変わります。

そのタイミングで希望小売価格
が変わります。 **資料同封**

価格改定の前に、欠品となつて
しまった商品も新価格になる場合
がありますのでご了承ください。
よろしくお願ひします。



働くのばちゃん Vol. 396



商品管理主任の千葉です
社長の時代はバナナが
高級品のイメージだった
んですね
商品管理の千葉です！

うん
そういう話はよく
聞くよね
今だと何になる
んだろう？



マッサージの道具
ではないでしょうか
特に首のあたりの
主任の千葉です！

たしかに
バナナより高い気は
するけど千葉主任
最近ボケが多く
なったね



赤のところお休み、白のところ営業

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

12月28日（水）〜1月4日（水）
までです。
よろしくお願ひします。

欲しいものです。
さて、当社のお休みは
12月28日（水）〜1月4日（水）
までです。

年末年始のお休み

発行者 (株)のぼのぼ
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社
神奈川県横浜市瀬谷区御本町9279-37
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337
<http://www.yetian.com/>
毎月20日発行 第396号

誕生日プレゼント

先日、誕生日を迎えた「のぼお」歳を取ってからの子供達からのプレゼントは、健康グッズ的な物が多いです。

顔がシワシワにならない様にと化粧水？。

なんかその上に塗るヤツ。

頭皮をマッサージする凸凹した

ゴムみたいな物。

それ用の液体。

腰を痛めない為の器具。

ふくらはぎを締め付ける道具。

背中を押すためのボール。

ここ何年か、そういった道具系

が多いです。

「みんな、自分の身体を心配してくれてるんだなあ、ありがたい事です」



感慨にふけていた「のぼお」へのプレゼントに、今回は見た事のない形状の物が入っていました。「C」の様な形。

「なんだコレ？」

「夏の暑い時に熱中症対策に使うヤツかなあ」

首に巻く

モノだった

のです。

巻きまし

た。

スイッチみたいなマークを押す

と「〇〇デンゲンハイリマシタ」

みたいな音を出しました。

続けて「ケイブヨミズデヌラシ

テクダサイ」

「はいっ！」

その電子的な声に従い、首部分

に水をつけました。

説明書は読まないタイプです。

他にもスイッチがあるので適当

にいじっていると、ビリビリした

感触がしてきました。

電気が通ったようです。

突き指や腰を痛めた時に整骨院

などで使うような、ビリビリする

ヤツ。



ここで「のぼお」の悪いクセが出てしまうのです。

6種類ある「モード」揉む種類の中で一番強いヤツを探したので

す。

そして更に「モード」一つ一つ

に「レベル」がある事に気づき、

それを一つずつ上げていきました。

「うわ、マジ気持ち良い」

コツチとアツチに電気が通って

いるのが分かるし、今度はこの辺

が押される感じ」

「レベル1、レベル2、、」

「だんだん「気持ちいい」から、

「痛い」に変わって来ましたが、

最後まで、この機械が兼ね備えて

いる「最高レベル」まで達成しな

ければ男じゃない！」

と考えるようになってしまった

のです。

しかし、そこそこ「レベル」を

上げると「ちょっと、本当に痛い、

これ以上無理だよ、やめてくれ！」

と断念しました。

負けた気がしました。

「こんな、たかがバナナみたいな

ヤツにやられたのか、、、」

色は薄いグレーでしたが、もう

バナナと表現するくらい、弱って

しまったのです。

「でも、小さい時バナナは高級なくだものだった気がする」

「そうか、バナナはスゴかったんだ」

「負けたからって、ちっとも恥ず

かしくないんだよ」

そう自分に言い聞かせたのです。

「だいたい、可愛い子供達からの

プレゼントじゃないか」

「自分を苦しめるためにくれる訳

はない」

「バナナ、そして子供達、本当に

ありがとう！」

新しい経験と、感謝の気持ちで

いっぱいになった「のぼお」でし

た。

